

平成28年度 明石市地域自立支援協議会

しごと部会 リポート Vol. 20 平成28年11月30日発行

発行元：明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎1丁目5番13号（明石市立総合福祉センター 1階）
電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています

「明石就労支援ネットワーク」～企業見学へ行ってきました～



平成28年10月27日(木)大阪市西淀川区にある「株式会社ニッセイ・ニュークリエーション」(日本生命 特例子会社 重度障害者多数雇用企業)へ、見学に行ってきました。

今回の見学は、2016年4月号「働く広場」にて、障害種別を問わず多くの方が生き生きと働いている企業風土を特集した記事を読んだこと、兵庫労働局の方からも「一度見学したらいいよ」とお話を頂いたことをきっかけに実現しました。

障害者雇用に取り組む企業として

- ◆社員数213人(うち肢体不自由65人、聴覚54人、精神37人、知的18人、内部7人、視覚1人)
- ◆同じ障害の先輩社員がマンツーマンでアドバイス。
困り感を抱え込まない体制を構築している。
- ◆自分の障害特性を伝える機会を持ち、多様な障害を持つ人が理解しあえるツールを社員自らが考えて作成している。
- ◆人材育成システムの元、キャリアパスのイメージが持てる職場づくりをしている。
- ◆身障者用トイレを男女別で20か所完備するなど、働きにくさを感じないハード面の工夫がなされている。

参加者からの意見 抜粋

- ◆障害種別の異なる社員が多数いる中で、それぞれの障害特性を考慮したハード面が完備されており、働き続けるうえでハード面の充実が大切であると改めて実感しました。
- ◆お互いの障害を理解しあえる体制を構築する事が、働きやすい風土につながっていると実感しました。
- ◆企業で対応が難しい時や支援機関が企業と連携を図る際の留意点が聞けて良かった。
- ◆見学の依頼を快諾頂いた事。また、当日は自らの体験を踏まえて様々なお話を聞かせていただき本当にありがとうございました！

良く聞く、就労支援をする上での支援者の悩み事・・・

- ① 友人関係・ゲーム・金銭管理・生活場面の課題等から、就労にも影響が出てきている方の支援について、送り出した側がどこまで関わっていけばいいのだろう？（支援者間・家族との連携の問題）
- ② 働き続けるうえで、身に着けていないといけないうえでどんなこと？（就労支援のアセスメント）
- ③ 会社の中で本人が育っていく、育ててもらえる環境づくりについて、どこまで会社に求めていけばいいのだろう？（働き続けるための会社の役割）

※今後も、就労移行支援事業所をはじめ障害者の一般就労に携わる方々と一緒に、「明石就労支援ネットワーク」として明石の障害者就労の形を作っていきたいと思っています。